

野の花

2011. 10. 28



<松戸向陽高等学校の2学期の行事>

2学期がスタートし、文化祭、体育祭と大きな行事も、生徒・職員が一丸となって作り上げ、楽しいものになりました。文化祭ではミュージカル仕立ての演劇や1年生のお化け屋敷、ジェットコースター等クラスの出し物と工夫がみられ、文化部の発表や展示も気合が入っていました。

体育祭では、1年生は中学と違い、いきなり本番の体育祭にためらう部分もあったかもしれませんが、綱引きや棒引き、台風の目のような団体種目への熱い声援もあり、楽しかったと感想を寄せています。2・3年生は生徒会を中心に係の活動や、雰囲気作りに力を出していました。統合後、生徒や職員の協働体制はより強まっているように思います。



←文化祭：PR用のぼり旗
各クラスのステージCM

体育祭の様子→



<北海道に行ってきました!!>

第2学年は、10月12日（火）から3泊4日の北海道修学旅行に出かけ、アイヌの歴史や文化、函館戦争、有珠山の噴火、洞爺湖等歴史や地理の学習、人権や防災教育について見学や体験をとおして多くのことを学んで参りました。24年度は、沖縄で平和学習と共に歴史、文化、地理を学ぶ予定です。

福祉教養科は3年生が介護実習で、24日まで各施設にお世話になりました。厳しい実習をしっかりとした信念と努力で乗り越えてくれたことと思います。（行事の様子は松戸向陽高校ホームページをご覧ください。）

<高校生と赤ちゃんのふれあい体験事業>

ちょっと先の話になり、11月のプログラムですが、興味深い取り組みを紹介します。松戸市子育て支援課と連携し、子育て中のお母さんと赤ちゃんが学校に来てくれます。鎌ヶ谷市、鎌ヶ谷高校ではすでに展開中のプログラムですが、松戸市では初めての試みになります。松戸南高校と本校が先行して実施します。聖路加病院助教授の堀成美先生から「命の尊さと性について一親になる準備として自分の体・心を見つめてみようー」というご講演をいただき、そのあとで体験学習を行うものです。

親になることの責任、命を生み育てるといふことの意味を真剣にとらえることができる大人に成長してほしいと考えます。実際に赤ちゃんに触れ合うことができ、その保護者の方からお話を聞き、「命」の重さを実感し、子育ての苦勞を伺い、「命」を尊重する心の種を根付かせたいと考えています。

家庭科と学年、松戸市子育て支援課の協働の学習です。2学年全クラスと1年福祉教養科の生徒が対象です。保護者の皆様も是非参観してください。

<整容指導について>

4月はじめから根気強く指導してきた髪については、ほとんどの生徒が改善することができ、近隣の方からも茶髪の生徒がいなくなり印象が良くなってきていますというお話を聞くことが多くなりました。しかし服装のだらしない生徒や化粧をする生徒がまだおります。化粧品は化学物質も多く含み、若い肌にはむしろ害をもたらすものです。制服を着用するという事は、髪も服装も靴の履き方も含めトータルで「学校の姿」になります。今年度は気温も高く、11月1日まで更衣の移行期間を延長しましたが、11月からはしっかりとブレザー、ネクタイを着用し、身だしなみを整えて登下校を行ってください。

寒い日の女子は、指定スラックスやタイツの着用も可能です。

芸術鑑賞会にいらっしゃいませんか？

本校の芸術鑑賞会は、11月24日（木）、午後2時半から森のホール21で行われます。今年度は中国の京劇「悟空シアター『竜宮の騒動』」を鑑賞します。京劇は日本の歌舞伎のようなものとお考えください。善悪がはっきりと演じ分けられ、歌舞伎の限どりのような独特の化粧法も興味深いと思います。中国の伝統劇ですので是非この機会にご覧下さい。また、当日は芸術鑑賞会に先駆けて、開校記念式典も行われます。案内・受付等で保護者の方のお手伝いを募集しております。（詳細は、31日配布予定の保護者あて案内文書をご覧ください）
